



はつくまのおことしんじ 初熊野 烏澁取り神事

初熊野

1年に12回ある熊野様のご縁日の内、最初のご縁日である1月13日のことを言います。

烏澁取り神事

初熊野の日に約1年間溜まった人の悪い部分を八咫鳥(烏澁鳥)が取り除き、良い方へと導く神事です。

お受け頂いてから1年過ぎて悪いものを蓄えた八咫鳥の御神像を13日(特に初熊野の日)に納め、新しい御神像を受けることで八咫鳥の導きを一層受けられるとされています。

御神像の納め方

1:現在お持ちの御神像を納め、新たな御神像を受ける。

2:現在の御神像をお祓いしてもらい新たな御神像を受ける。(現在の御神像は持ち帰り、置物として可愛がる)

※御神像の祓う御祈祷(烏澁取り)もあります(予約制)

※烏澁(おこ):「馬鹿げている事、愚かな様、身の程を弁えない、生意きだ」等の意味で使われる古くから存在する言葉。

現代では「烏澁(おこ)がましい」と使われることが多い。

